

交換留学での学びを通して

平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月

北海道教育大学釧路校地域・環境教育専攻留学

與那覇 真央（琉球大学教育学部生涯教育課程自然環境科学教育コース）

まず私は、元々この交換留学に行きたかったために教育学部に入学しました。実際に留学に行ったことで私の大学生活での目標が一つ達成されたと思います。

何故交換留学をずっと目指していたかという、文化や気候が違う沖縄から一番離れた北海道で暮らす経験はなかなかないということ、元々教育大学を志望していた時期もあり、琉球大学のような総合大学とは異なる教育大学ではどのような授業が行われているのか興味があったこと、人見知りの自分を変えたかったこと、など沢山の理由があったからです。半年間という短い期間だったからこそ、学べたことが沢山ありました。

北海道教育大学では地域・環境教育専攻の環境分野で学ばせてもらいました。琉球大学の方でも自然環境について学んでいるため、沖縄と北海道での環境の違いを知り、環境について理解をより深めることができました。また、模擬授業をする機会もあり、環境分野において自分がしたい授業をすることができて、いい経験になりました。研究室は食育と環境研究室で、食育や農業、教育学について理解を深めることができました。琉球大学のほうではまだ研究室の配属が決まっていなかったため、ゼミなどの少人数で話し合いをする機会が初めてだったのですが、一人では考えつかない様々な考えが自分の中で吸収され、教育という分野についてよりいっそう興味が深まりました。教育大だからこそ学べたと思います。

また学校以外でも、同じ琉球大学の交換留学メンバーや、前期にきていた交換留学メンバー、また北海道で新しく知り合った友達などと一緒に、釧路以外の函館や知床、札幌、網走など北海道の様々なところを回りました。沖縄とは違って北海道はかなり広いので、移動にすごく時間がかかりましたが、地域によって文化も違って、とても魅力的だと思いました。沖縄では見るできない雪も体験することのできない寒さも経験できて、日本の北と南の違いがどれほどあるのか思い知りました。授業でも雪や寒さを生かした野外教育について学ぶことができ、非常に楽しかったです。

私は人見知りのため、自分から友達を作るのが苦手でしたが、北海道教育大学の皆さんは快く歓迎してくれて、沢山の友達ができました。この経験がなければ成長することもなかったと思います。私の人生の中で、非常に影響を受けた半年間でした。今では北海道の教員採用試験を受けようと思っています。

最後に、この留学に行かせてくれた親、指導教員の野村先生、この留学制度を作ってくれた田丸先生、仲良くしてくれた釧路の皆、そして一緒に成長した交換留学生の皆さん、本当にありがとうございました。